

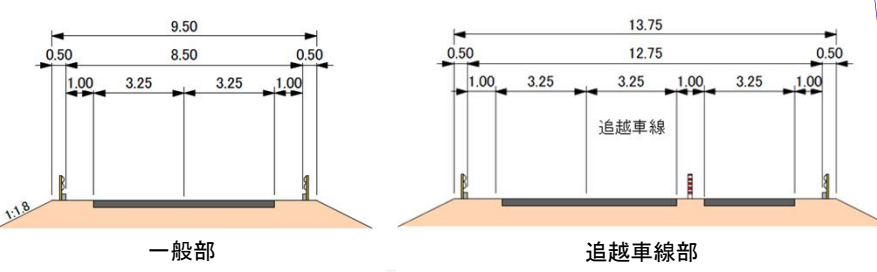
## 1 整備方針

- ・ 設計速度60km/h (一般道路・2車線)
- ・ 起点を安曇野北IC(仮称)とし、平成23年度公表のBルートを修正
- ・ 高瀬川右岸道路を部分的に改良して活用 (追越車線4箇所、立体交差1箇所)

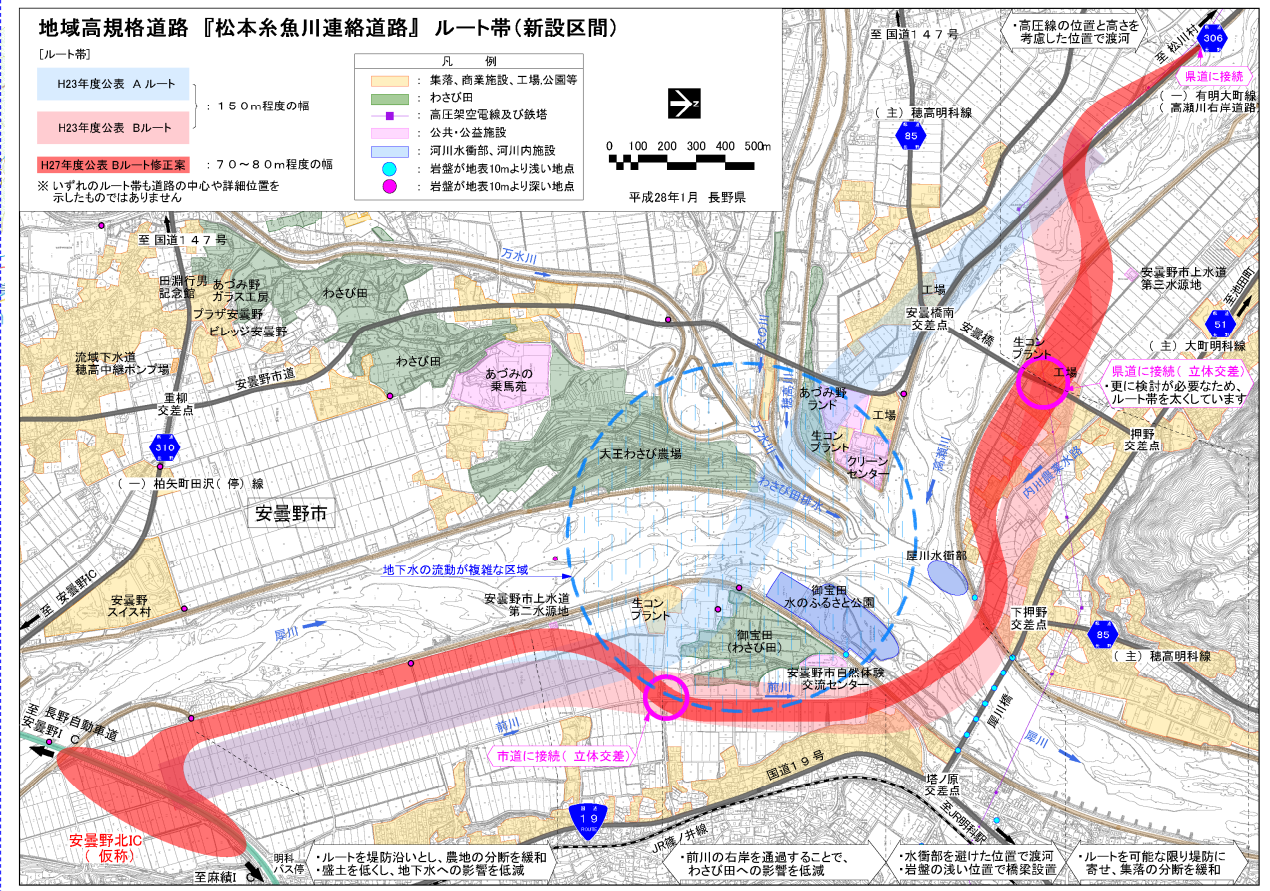
## 2 ルート帯



## 3 幅員



いずれも標準的な幅員(単位:m)です



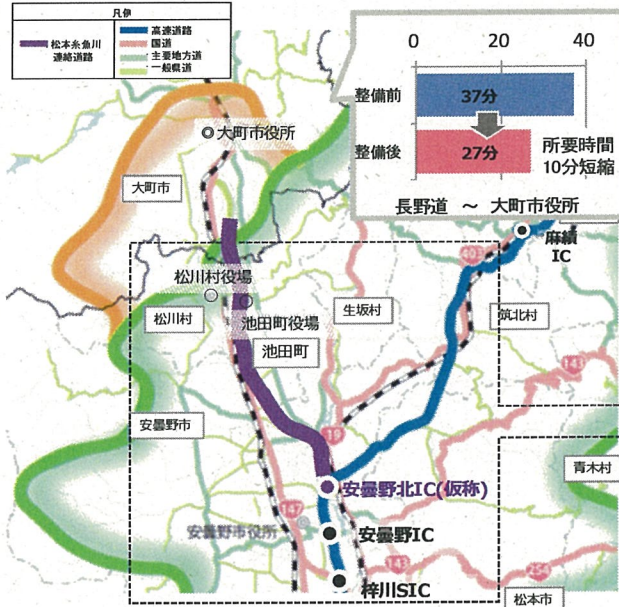


## 4-1 整備効果(時間短縮)

### ■ 高速道路にアクセスしやすくなります

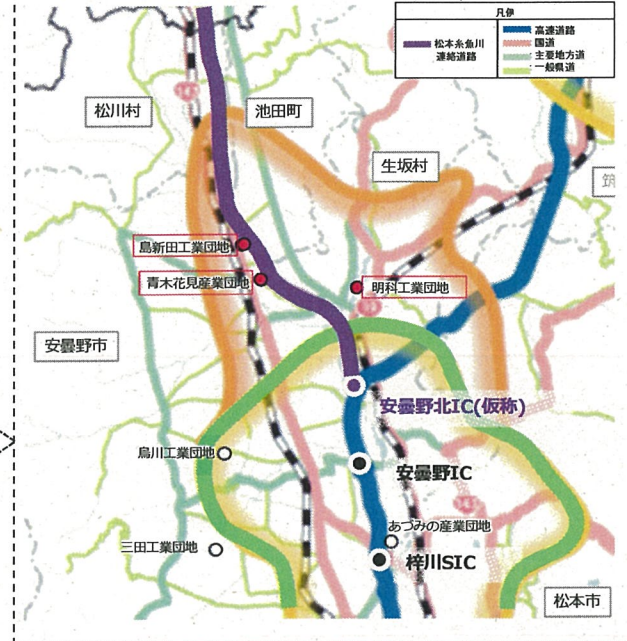
大町市街地が高速道**30分**圏域に入ります  
(池田町・松川村役場が概ね15分圏域に入ります)

### ◆ 長野道から30分圏域の変化 (整備前→整備後)



安曇野市内の3つの工業団地が  
高速道**10分**圏域に入ります

### ◆ 長野道から10分圏域の変化 (整備前→整備後)



## 4-3 整備効果(安全性向上)

### ■ 安全性が向上します

国道147号などで死傷事故率の高い区間が点在

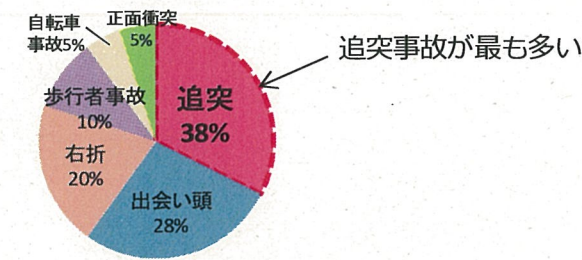
交通量の減少等により、**安全性が向上**

### ◆ 交通事故の状況 (国道147号 成相~島新田交差点)

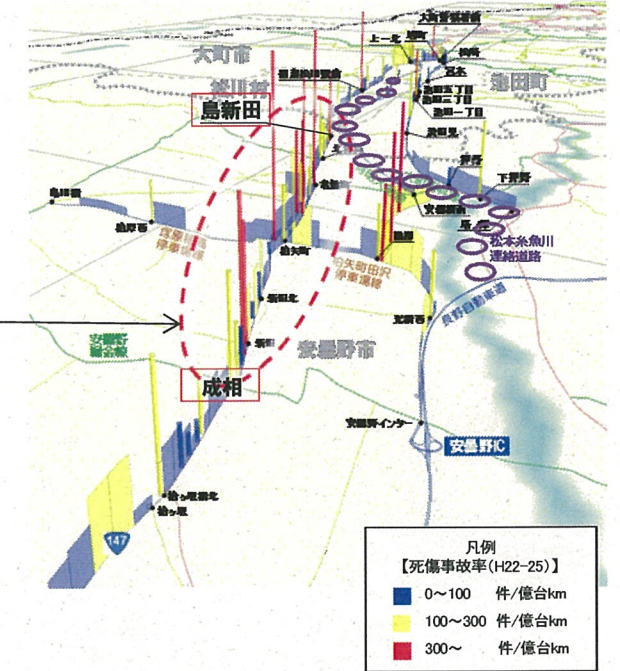
死傷事故率が県平均の約8倍

※成相~島新田: 392件/億台km  
長野県平均: 48件/億台km

### 【主な事故要因】



### ◆ 国道147号などの交通事故の状況 (死傷事故率)



死傷事故率: 自動車の走行距離あたりの死傷事故率発生件数  
資料: ITARDAデータ (H22-H25) をもとに作成

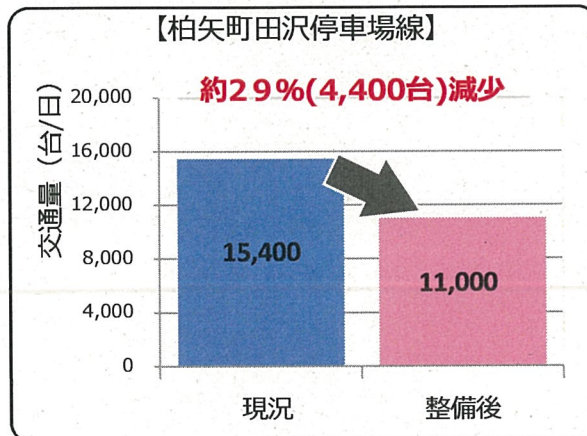
## 4-2 整備効果(渋滞緩和)

### ■ 渋滞が緩和されます

市街地部や安曇野IC周辺で渋滞が発生

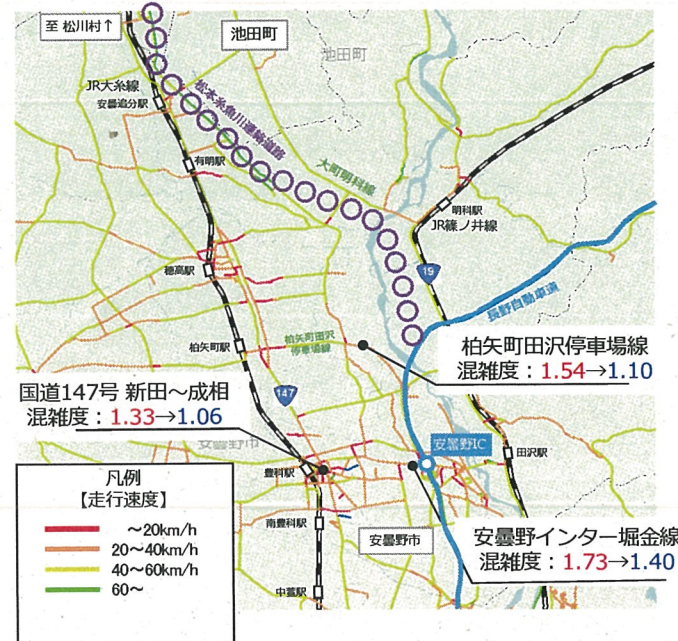
交通量の減少により、**渋滞が緩和**

### ◆ 交通量の変化 (将来交通量推計の結果)



※現況: H22道路交通センサス交通量  
整備後: 将来交通量推計値

### ◆ 現在の安曇野市内の交通状況 (走行速度、混雑度) (混雑度: 現況→整備後) 混雑度: 道路の混み具合を示す指標



・走行速度は、カーナビの旅行時間データ(H23.9~H24.8)をもとに算出  
(本田技研工業(株)インターナビフローティングカー統計データを使用)  
・混雑度は、H22道路交通センサスと将来交通量推計に基づく

## 5 経過

- H6 「候補路線」に指定 (波田~糸魚川 約100km)
- H10 「計画路線」に指定 (波田~糸魚川 約100km)
- H11 「調査区間」に指定 (約15km)  
堀金村~大町市
- H12・13 住民説明会、意見交換会開催  
波田町、南・北安曇郡の13市町村
- H15 地域高規格道路の構造要件の見直し  
県が現道活用ルート及び起点の変更  
(波田町から豊科IC付近)を表明
- H17 「調査区間」に指定 (小谷村 約4km)
- H20 県内全線のルートの公表  
・4案のうち、豊科北ICを起点とした
- H23 起点部約5kmの概略ルートを公表  
・ルート帯(A, B)のうち、B案が有利と説明

## 6 今後の予定

1月29日 全体説明会(3会場)

2月2日~地区説明会

意見の  
とりまとめ

2月16日~意見の公募  
(パブリックコメント)  
説明会に出席できなかった方も  
含めて、ご意見をいただきます

次回説明会など